

第3号議案

平成24年度事業計画（案）及び
平成24年度収支予算（案）について

ITコンソーシアム京都 平成24年度事業計画（案）

設立から7年目を迎えた本年度においては、産学公の広範囲な連携によるオール京都でのIT利活用の推進を目指し、府内のIT関連団体の中核としての取組や、部会間の連携を意識した取組など、活動の更なる活発化を図る。

部会については、「観光情報基盤検討部会」、「医療情報化部会」、「クロスメディア部会」、「クラウドコンピューティング部会」の4部会を柱として、具体的なプロジェクトに取り組んでいく。

普及啓発については、IT利活用推進や情報セキュリティに関する啓発事業を行うとともに、全部会合同によるシンポジウムの開催や、会員団体の知見や能力を活かしたホームページの刷新など、より一層内容の充実を図る。

主な事業計画は次のとおりである。

1 普及啓発活動

(1) 情報提供

- ・ ITコンソーシアム京都ホームページによる情報発信（会員団体の協力を得ながら、デザイン等の刷新を検討）
- ・ メールマガジン「ITコンソーシアム京都ニュースレター」の送信により、事務局からの情報提供に加え、会員からの情報提供、各種研究会・講演会の案内、府内のIT関連情報など、タイムリーな情報を会員向けに提供

(2) 部会セミナー

- ・ 観光分野の専門家を招いての講演会と、講演内容を踏まえたセミナーをパッケージで実施する「情報化セミナー」（年6回程度）（観光情報基盤検討部会）
- ・ 地域共通診察券に係る主要な課題の共有や、その解決のための意見交換等を目的とした「地域共通診察券運営協議会」及び有識者を講師に招いての「『ポケットカルテ』『地域共通診察券』合同勉強会」（毎月開催）（医療情報化部会）
- ・ 「Kyoto CMEX」と連携したイベントや、クロスメディアを活用した地域活性化についてのフォーラム（クロスメディア部会）
- ・ クラウド関係のイベント、セキュリティ研修等（クラウドコンピューティング部会）

(3) その他会員向けセミナー等

- ・ 各部会の活動に関連するテーマについて講師を招き、講演会やパネルディスカッションを実施する全部会合同シンポジウム
- ・ 京都府警との連携によるセキュリティ啓発事業

(4) 後援・協賛事業

- ・ 府内でのIT関係の各種イベント等に対し、共催、後援により参画し、府域での普及啓発を推進

2 調査研究活動（部会活動）

(1) 観光情報基盤検討部会

観光に携わる人々のITリテラシーが必ずしも高くない現状を踏まえ、京都伝統工芸体験工房協議会と連携しながら、有識者を招いての講演会と講演内容を踏まえた初心者向けセミナーとをパッケージで実施する「情報化セミナー」を実施する。セミナー部分については有料で実施し、参加者の学習意欲を高めるとともに、将来における本事業の民間企業等への引き渡しも検討する。

また、「京都府北部地域・大学連携機構」が調査・研究している「自転車を活用したエコ観光プロジェクト」についても、ITをどう活用するかという視点から、引き続き協力を行う。

(2) 医療情報化部会

昨年度に引き続き、京都府民向け個人健康医療福祉履歴情報管理サービス「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券の発行枚数100,000枚、提携医療機関数200という目標に向けて、普及啓発を推進する。今年度は、新たに八幡市においても地域共通診察券の発行を開始する。

他の地域では、「神奈川県マイカルテプロジェクト」との連携により、同県内のモデル地区において、「ポケットカルテ」「地域共通診察券」事業を開始する予定となっている。さらに、その他の市町村においても、京都のシステムを共同利用する形で、普及啓発事業を行う予定となっている。

また、ポケットカルテの利活用として、医学系諸学会より協業依頼が来ており、今年度は中でも、「日本未熟児新生児学会」との連携による「電子版母子手帳、および極小未熟児・ハイリスク出生児フォローアップ手帳」や、「京都府がん医療戦略会議 院内がん登録部会」との連携による「電子版がん診療連携手帳」などを実装予定としている。

(3) クロスメディア部会

世界に通じるコンテンツの都としての京都の強みを生かして、クロスメディアをキーワードとした新しいコンテンツ産業のビジネスモデルを提案していく。

具体的には、KYOTO CME Xとの連携事業として、コンテンツビジネスに関するシンポジウムおよびビジネスセミナー（コンテンツクロスメディアセミナー）、業種業態の垣根を越えた交流会とを実施するほか、ユーザー参加型の新しいコンテンツビジネスの嚆矢と目されている「初音ミク」をフューチャーし、京都の特性と魅力を活かしたライブ配信実験などを企画、実施することを通じて、「京都らしい」クロスメディア指向のコンテンツビジネスの可能性を検証する。

また、昨年度取り組んだ京都ゲームミュージアムの可能性を検討する「クロスメディアを活用した地域活性化フォーラム」の第2弾として、アメリカおよびイギリス等海外でゲームアーカイブの構築およびそれを活用した地域活性化に取り組んでいるキーパーソンを招聘したフォーラムを実施する。

(4) クラウドコンピューティング部会

クラウドコンピューティングは、もはやICTの基盤となりつつある。このような状況の下、京都地場産業振興のためのクラウドコンピューティングの活用について、検討するとともに、様々な行動を展開していく。

具体的には、財団法人京都高度技術研究所を中心として、クラウドを使う企業と提供する企業の双方にとって、有用な取組みを展開していく。また、昨年度は、財団法人京都高度技術研究所との共催でクラウド関連のセミナーを開催した。今年度も引き続き、クラウド関連の啓発事業を実施する。

また、総務省、経済産業省が共同で推進している「ジャパン・クラウド・コンソーシアム」の「業務連携クラウド検討WG」の京都地域協議会及び財団法人京都高度技術研究所が事務局を務める「京都クラウド・ビジネス研究会」との連携を深めながら、部会活動をより充実していく。

ITコンソーシアム京都 平成24年度収支予算(案)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 会費収入	(3,420,000)	(3,460,000)	(△ 40,000)	【会費収入内訳】 ・普通会員(20,000)×111 2,220,000 ・府(500千円)、市(500千円)、京商(100千円)、ASTEM(100千円) 1,200,000
会費収入	3,420,000	3,460,000	△ 40,000	
2 雑収入	(1,000)	(1,212)	(△ 212)	預金利子
雑収入	1,000	1,212	△ 212	
3 その他	(300,000)	(0)	(300,000)	情報化セミナー参加費
その他	300,000	0	300,000	
当期収入合計	3,721,000	3,461,212	259,788	
前期繰越収支差額	5,087,487	4,941,988	145,499	
収入合計	8,808,487	8,403,200	405,287	
II 支出の部				
1 事業費	(4,450,000)	(3,400,000)	(1,050,000)	@1,000千円×4部会 総会 委員会
調査研究費	4,000,000	2,950,000	1,050,000	
総会費	400,000	400,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	
2 普及・啓発費	(1,300,000)	(700,000)	(600,000)	各部会合同シンポジウム/セキュリティ啓発 HP刷新/サーバホスティング経費
会員セミナー費	800,000	500,000	300,000	
HP作成運用費	500,000	200,000	300,000	
協賛事業	0	0	0	
3 事務費	(700,000)	(500,000)	(200,000)	消耗品費/通信費/交通費/アンケート調査費/手数料等
事務費	700,000	500,000	200,000	
4 予備費	(100,000)	(300,000)	(△ 200,000)	
予備費	100,000	300,000	△ 200,000	
当期支出合計	6,550,000	4,900,000	1,650,000	
当期収支差額	△ 2,829,000	△ 1,438,788	△ 1,390,212	
次期繰越収支差額	2,258,487	3,503,200	△ 1,244,713	